

昔があつて今がある

東松山の源流をたどる

市内に多数存在する文化財から、受け継がれてきた東松山市の歴史をたどります。

平成23年10月、東松山市で三角縁神獸鏡が発見されました。同鏡が埼玉県で確認されたのは初めてのことです。これは、東松山市域が、ヤマト政権とのつながりを早くから持つていたことを示す貴重な遺物で、この地域の歴史をひもとく重要な文化財として期待されています。

東松山は、旧石器時代から人々が生活を営んでいました。豊かな緑と水を生かし発展してきた東松山は、江戸時代になると、天領や旗本領として統治され、多くの人々が行き交う交通の要所となりました。現在も残る宿場町の面影は、この頃形成されたものです。市内に残る多くの文化財は、太古から続くこの地域の歴史を物語っています。

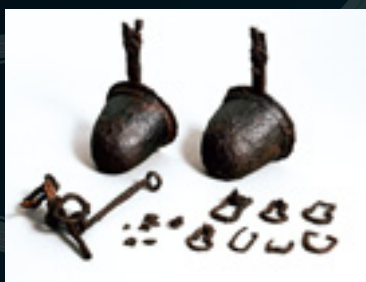
History and Cultural Assets of the City
In October 2011, a Sankakubuchi-shinjukyo (triangular-rimmed divine beast mirror) was discovered in Higashimatsuyama City, the first of its kind found in Saitama. It is expected to provide important historical material to the region, which demonstrates the Higashimatsuyama City region's relationships with the Yamato regime. People have lived in this area since the Stone Age. The City, which has developed in harmony with nature, used to be a transportation hub and prospered as a post town during the Edo period. Many cultural assets that still remain in the City witness the long history of the City.



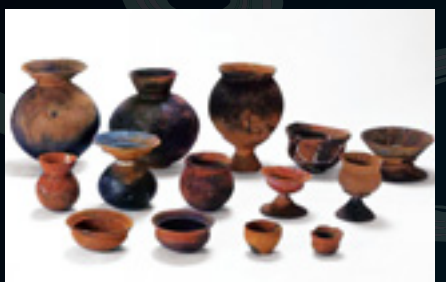
【高坂／丘陵】市指定文化財
さんかく ぶち ちん し さく し しん にじゅうきょう
三角縁陳氏作四神二獸鏡
Triangular-rimmed Divine Beast Mirror
直径は22cm、裏面には35文字からなる銘文があり、四神や二獸の図柄がはっきり確認できます。250～260年頃に中国でつくられたと見られています。



【大岡】県指定文化財
よし が やつ いせき
吉ヶ谷遺跡
たてあなじゅうきょあとしゅつどひん
竪穴住居跡出土品
Excavated Earthenware from the Yoshigayatsu Pit Dwelling Ruins
比企地方の弥生時代後期研究の発端となった出土品。土器以外に土製の紡錘車、土製の勾玉なども出土しました。



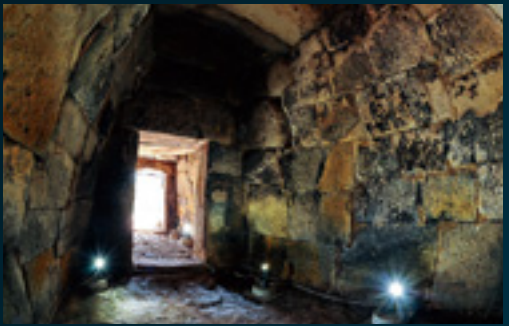
【野本】県指定文化財
ふるこおり こふん ぐんない どころ しゅつど
古凍古墳群内土壙出土
てつせいづぼあぶみ および ばぐ
鉄製壺鎧及び馬具
Excavated Iron Articles (pots, kicking straps, and harness) from the Furukori Tumulus
古墳時代後期の馬具で、鉄製壺鎧は県内初の出土。当時の金工技法・技術を知る上で学術的価値の高いものです。



【野本】市指定文化財
五領遺跡出土品
Excavated Articles from the Goryou Ruins
五領遺跡から出土し、古墳時代前期の標識土器となっています。五領遺跡からは150軒以上の竪穴式住居跡などが確認されました。



【松山／平野】市指定文化財
水鳥を冠した人物埴輪
Human Haniwa (clay image) crowned with a bird
古墳時代後期の岩鼻古墳群より出土。全国的にも珍しい、頭に水鳥の形をした帽子をかぶった人物埴輪です。



【唐子】県指定文化財
若宮八幡古墳
Wakamiya Hachiman Tumulus
6世紀末から7世紀はじめ頃につくられた市内で3番目に大きな円墳です。巨大な凝灰岩の横穴石室があります。直径30m、高さ4m。



【大岡】国指定文化財
おおや が ようせき
大谷瓦窯跡
Oya Tile Kiln Ruins
7世紀頃、丘陵の斜面を掘りくぼめてつくった登り窯の跡。寺院の屋根に使われた軒丸瓦や平瓦、丸瓦、文字瓦などが出土しました。
おおや が ようせきしゅつどがわら
大谷瓦窯跡出土瓦
Excavated Tiles from the Oya Tile Kiln Ruins

◆ 原始	◆ 旧石器・縄文・弥生・古墳時代
◆ 石を道具として使う人々が登場	◆ 土器をつくり、集落がつくられる
◆ 稲作が始まりムラがつくられ、岩鼻式・吉ヶ谷式と呼ばれる弥生土器がつくられる	
◆ 五領遺跡をはじめ外来の文化の影響を受けた遺跡が登場する	
◆ 三角縁神獸鏡がもたらされる	
◆ 古墳群がつくられる	
◆ 古代	◆ 飛鳥・奈良・平安時代
◆ 大谷瓦窯がつくられ、寺院に瓦が供給される	
◆ 市内に古代寺院がつくられる	

昔があって今がある
東松山の源流をたどる



【松山 / 平野】 県指定文化財 (上)・市指定文化財 (下)

やきゅう
箭弓稲荷神社社殿(上)
と元宮(下)

Main Buildings of Yakyu Inari Shrine and Former Main Building of Yakyu Inari Shrine
和銅5(712)年創建と伝えられ、現社殿は天保年間に建立されました。元宮は現本殿の真後ろに鎮座し、細やかな彫刻が施されています。



【高坂 / 丘陵】 県指定文化財
正法寺の銅鐘

Bronze Bell of Shoubouji Temple

古くから知られている札所であり、岩殿観音の別名で親しまれている正法寺。本堂や観音堂の他、鐘楼・六面幢・板石塔婆など価値ある文化財が数多くあります。



【高坂 / 丘陵】 市指定文化財
石橋 (右)
及び石橋供養塔 (左)

Ishibashi and Ishibashi Stone Memorial Pagoda

八王子・日光道が秩父道とわかれて松山方面に向かう途中に架けられた石橋。供養塔には、旅の安全を願う馬頭観音や道標としての情報が刻まれています。

【松山 / 平野】
県立松山高等学校記念館

Matsuyama High School Memorial Hall

大正12(1923)年に建てられた木造の旧校舎の一部を移築した記念館。現在は教育資料館として利用されています。



【大岡】 国指定文化財
ほうきょういんとう
光福寺の宝篋印塔

Koufukuji Temple Houkyouintou Pagoda

鎌倉時代後期を代表する均整のとれた塔です。沙彌閻阿が比丘尼妙明と藤原光貞の供養のため、元亨3(1323)年に造ったものです。



【唐子】 県指定文化財
おどりじょうあと
青鳥城跡

Odori Castle Ruins

室町時代から戦国期の城跡で、城内には土塁や空堀、板碑などが数多く存在します。東西750m、南北600m。



【高坂 / 丘陵】 県指定文化財
かがつめし
加賀爪氏累代の墓

Tomb of the Kagatsume Family

徳川幕府に仕えていた旗本加賀爪政尚・忠澄・直澄3代の墓。高濟寺本堂西の土塁の上に築かれています。



【野本】 国指定文化財
等覚院
もくぞうあみだにょらいざぞう
木造阿弥陀如来坐像

Wooden Seated Image of Amida Buddha at Tougakuin

ヒノキ材寄木造、漆箔の坐像で市を代表する古仏の一つ。鎌倉時代中期の建長5(1253)年に一度修理されたことがわかっています。像高87.4cm。



【松山 / 平野】 県指定文化財
うえだともなおこんりゅう
上田朝直建立の
青石塔婆

Aoishi Stupa dedicated by Ueda Tomonao

戦国の世を生き抜いた名将、松山城主の上田朝直が、元龜2(1571)年に、一族や家臣の冥福を祈って建立した供養塔。高さ273cm。



【唐子】 市指定文化財
とらごいし
虎御石

Torago Stone Monument

青鳥城跡の東端のオタメ池の辺に建ち、応安2(1369)年の銘がある板碑。比企・入間地方最大の大きさです。高さ375cm。

【大岡】
馬頭観音の御開帳

Unveiling of the Horse-Headed Kannon image

妙安寺観音堂にまつられる馬頭観音は、通称上岡観音と呼ばれ、馬頭観音としては関東地方随一の霊場として知られています。鎌倉時代の創建と伝えられ、軍馬や農家馬の守り観音として古くから信仰を集めてきました。12年に一度、午年の4月に観音像の御開帳が行われ、多くの人が参拝に訪れます。



平成26年4月に行われた御開帳

中世 【鎌倉・室町時代】

- ◆ 野本氏、小代氏など武士団が活躍する
- ◆ 中世城館が築城される
- ◆ 板石塔婆が造立される
- ◆ 小田原北条氏が進出し、上田氏の松山城が比企一帯の中心となり、松山には城下町がつけられる

近世 【安土桃山・江戸時代】

- ◆ 天領や旗本領として統治される
- ◆ 交通の要所となり「宿」「市」がつけられ、商工業も発達
- ◆ 幕末から明治にかけて、松山陣屋が置かれる

近現代 【明治時代以降】

- ◆ 明治4(1871)年に入間県、明治6(1873)年に熊谷県に所属後、明治9(1876)年埼玉県に属す。明治12(1879)年には比企郡に所属。その後、町村合併があり、明治22(1889)年に松山町・大岡村・唐子村・高坂村・野本村が成立
- ◆ 東武東上線高坂駅、武州松山駅が開校
- ◆ 旧制松山中学校(現松山高等学校)が開校
- ◆ チーゼル機器株の工場進出
- ◆ 昭和29(1954)年、1町4村が合併し東松山市誕生